

新たな挑戦！



皆さん、2024年ベルズは新たな挑戦に臨みます！ズバリ「貸別荘業」です！現在ベルズ事務所の2階は私、鈴木の自宅ですが、リフォーム・リノベーションを検討されているお客様にご覧いただき、無垢フローリングや塗り壁など自然素材の心地よさや、ベルズの世界観を感じていただいております。これは実際目で見て直接素材に触れていただく事で、言葉で説明したり、施工写真をご覧いただくよりも何倍もお客様に伝わるだろうという思いがあるからです。ただそれでも伝えきれない部分はまだあります。例えば家事動線等を考慮したお部屋の間取り、使い勝手のいい収納計画、ここにあったら便利なコンセントやスイッチ類、夜になって初めて感じる照明計画などなど・・・これらは実際にその場で生活してみないとなかなか気付けない部分です。特に照明は夜にならないとその効果が分かりません。自宅のオープンハウスを夜にやろうと考えた事もありましたが、近隣のご迷惑になってしまうので断念（涙）。それならいっそお家に泊まって実際に生活してもらおう！と。そんな思いが発展して行きついた先が「貸別荘」でした。なぜいきなりそこまで話が飛躍したのかって？休日によくワンコを連れて遊びに行く場所の近くで格安で土地が売りに出ているからです。その広さな

んと300坪！ただ現地を見に行ったら唖然！敷地いっぱい木が生い茂り、土地の原型が全く分かりません。それもその筈。ここは庭木を育てる植木農家の畑だった場所です。その為コンクリートの擁壁で四方囲われ、しっかり区画されています。何とかこの植栽を生かせないかと造園の職人に相談しましたが、植わっているほとんどが園芸品種で実際に山に生息している樹木ではなく、敢え無く断念（涙）。一旦更地に戻す事に。思い起こせば5年前、現在のベルズ事務所を建築する際も、電気・水道も無い廃材置き場だった空き地を0から開拓しました。（ベルズレターVol.27参照）今回もまさに0からスタートいやマイナススタート！？何故か運命を感じて即決しました。ご紹介が遅れましたが、場所は足柄上郡松田町の寄（やどりき）という所です。丹沢のふもとの山間で中津川というとにかく水のきれいな川が流れていてこの川に一目ぼれしました！今回の土地もこの中津川のすぐ横に位置し、ワンコの散歩には最高のロケーション！春には河川敷に繋がるしだれ桜並木、夏にはホタルやニジマス釣りや見どころ遊びどころ満載のエリアです。またワンコの飼い主さん達には有名ですが関東圏最大規模のななつ星ドッグランがあり、東京方面からもたくさんの人たちが訪れる隠れた観光地です。そんな寄ですが、宿泊施設が圧倒的に少ないんです。せっかく素敵な場所なのに日帰りなんてもったいない！宿泊型のショールーム施設に端を発した今回の貸別荘ですが、気が付けば寄の大自然



に魅了されこの地で微力ながら何か地域貢献できないかという思いに。ただこの土地の地目は「田」。農地なんです。そもそも家が建てられない場所。ここで貸別荘を営むには松田町、さらに神奈川県から農地転用の許可をとらないといけません。これがなかなか大変な事。この記事を書いている現在もまだ許可が取れていません。建築の計画を進めながら同時進行で申請する予定です。

さてこの続きはベルズレターかHPのブログ等でご紹介していきますので楽しみに！

貸別荘にお泊り体験！



冒頭でもお話ししました貸別荘。これから計画を進めていく中で、是非とも参考にさせていただきたい軽井沢にあるTORINOSという1日1組だけのプライベートな貸別荘に行ってきました！ワンコも宿泊OKで敷地はフェンスで囲われ放し飼い。ツキもロクも大喜び！建物の形もBELLSハウスと同じ片流れ屋根で何だか親近感♪現地に到着してまず驚いたのが、部屋の中がポカポカだった事。到着時間を予めお伝えしていましたが、それに合わせてオーナーさんがエアコンをつけてくれていたんです。実は敷地内にはオーナーさんの

ご自宅が建っており、この貸別荘を管理されているとの事。聞けばここは中古物件でリノベーションをして貸別荘にされたのだとか。元々の建物が素敵だったという事もありますが、とにかくいい感じ♪オーナーさんのセンスがあらこちらで光ります！室内には家電はもちろん、食器や調味料、キッチンペーパー、分別のゴミ箱・・・と生活に必要なものは全て揃っています。また音楽が楽しめるようBluetoothのスピーカーがあったり、タオルがフワフワでいい匂いだったり、浴室のスポンジはもちろん、キッチンのスポンジまで新品。書き出したらキリがありませんが、とにかく細部にわたりオーナーさんのホスピタリティを感じました。次に建築に目を向けてみます。

まず目を引いたのはやはり床の無垢フローリング。パイン材の無垢だと思うのですが、これは前のオーナーさんから引き継いだ床という事で、活かせるところは残すりノベのお手本！やっぱり無垢は最高！とにかく暖かくて気持ちいい。ワンコ連れのお客が多いと聞いていますが、キズもいい感じ♪これも無垢ならではのですね。続いて気になったのが、キッチンの天板。モルタルです！ベルズでも壁や床によく使うお馴染みの素材ですが、キッチンの天板にもよく馴染んでいました。最近ではひび割れが無いモールドテックスというモルタルに樹脂を混ぜた材料が流行っていますが、床同様にキズやひびもいい感じ。ベルズの貸別荘にも採用！？窓まわりは基本的に全て断熱サッシ。玄関のドアもそうですが、閉める際、枠に引き寄せて気密性を高める仕組み。壁も外断熱という事で、冬の寒さが厳しい軽井沢では断熱は必須ポイントなん



ですね。さてそんな暖かくて素敵な空間ですので夜は当然お酒が進みます(笑)。オーナーさんに紹介いただいたお店のお惣菜もとても美味しくスーパーで買い出した地元のクラフトビールや信州ワインがあっという間に空っぽに。最高に贅沢な時間を過ごさせていただきました。いかがでしたでしょうか。今回、チェックイン後の夕方の散歩、翌朝の散歩、さらにチェックアウト後にも公園まで一緒していただき(オーナーさんも保護犬2匹フェイクン、オトちゃんとお住まいです。)別でコーディネート料をお支払いしなくて

と思うほど親切にしてくださいました。本当にありがとうございました。今回は冬で落葉した木々がいい感じでしたが、是非とも夏にも来てみたいと思いました。ベルズもこんな素敵な貸別荘を目指して計画を進めたいと思います！

Nothing ventured, nothing gained. (何もしなければ何も得られない)

ベルズ塩谷です。本年も宜しくお願い致します。

今年はエルニーニョ現象による影響もあり、例年より温かい年末年始となりました。能登半島地震など年明けから悲しいニュースが重なり、一刻も早く救援、支援の手が届くことを願うばかりです。

今もこうして日常を営むことができる事に感謝しながら、昨年作った家具や、年明け早々やった事を記し、この場を借りて振り返らせて頂きます。

いきなり個人的なもので恐縮なのですが、レッドシダーの古材で自室用のテーブルを作りました。もともとはウッドデッキのフェンスとして使用していました。

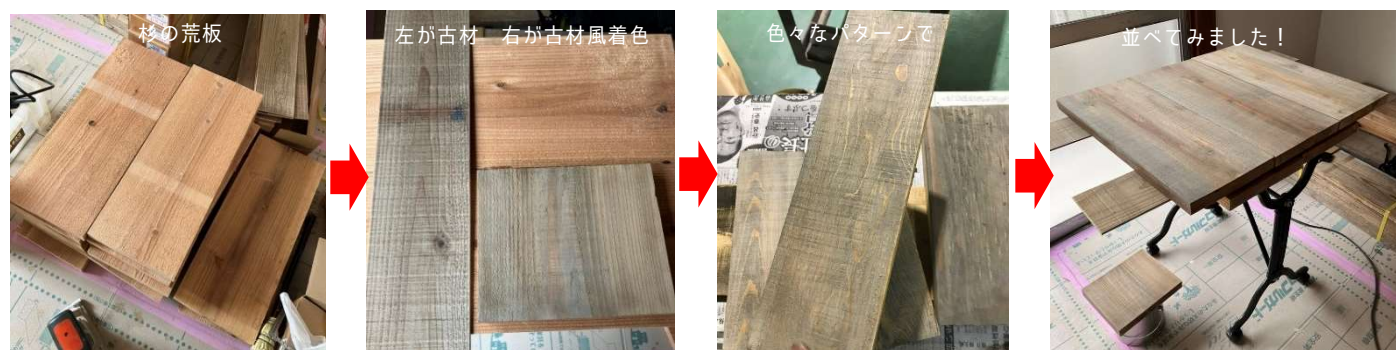
ところがフェンスの高さを変更したためお役御免のお蔵入り。当然お蔵なんて無いので雨ざらしで放置してあった材料。一念発起しまして、丸鋸で木取り、木口に木材を繋ぐためのサネを埋め込む溝加工を施し（ここで心が折れかけました）



ガッチリ固定して、手作業で目立つ粗や隙間を調整し、クリアオイルにしました。脚はネットで購入して無事完成。写っていませんが裏側には反り止め金具を仕込みたかったのですが、予算オーバーなので木枠で補強しています。自己満足と言ってしまうえば身も蓋もありませんが、モノの愛着とは不思議なもので、手塩にかけて分、大変愛おしい存在です。今も自室で存在感を放っております。(少し大きかったか)

ここでタイトルに帰ってくるわけですが、ある日鈴木社長から、「古材を使った天板をラフなイメージで作りたいんだけど、塩谷出来る？」と。少し心拍数が上がった気がしました。こんな事もあるか、と。

ここで引き下がってはベルズに入った意義も半分失われるというもの。ですが安請負ではなく、鈴木社長に前述のテーブル写真を見てもらいイメージを共有した結果、私が制作する運びとなりました。現在もその途中でございます。これが書き終わればまた作業に戻ります。作業中の工程を一部ご紹介します。



作業は前述した自室テーブルに似た工程ですが、若干変更があり杉の荒板にエイジング加工を施し、古材のような雰囲気着色する工程がプラスされました。(！)以前の職場で古材風ワインセラーを制作する仕事があり、その経験が今回のテーブルにそのまま活かすことができました。師匠と暇があつては実験していたこともあり、懐かしい気持ちと共に作業しております。

自分にとってこれまでの何が重要な経験だったのかとよく考えます。現在経験していること、身に降りかかる良い事も悪い事も、今理解できなくともこの先の自分がまっちゃん解釈してくれると信じて、噛み締めていこうと思います。

それでは恒例の一曲紹介やっておこうと思います(笑)

Itsunohika / ASOUND

とても素晴らしい曲ですので、ぜひ聴いてください。



備えあれば患いなし？



新年おめでとうございます。設計スタッフ天内です。本年も宜しくお願い致します。正月早々、大きな災害、事故が相次ぎ何と言ってお悔やみ申し上げたら良いかわからないスタートになりました。私も事故の無いよう気を引き締めてやっといこうと再度思います。と、申しますのも私昨年末、自分の車で事故をもらいました。いわゆるもらい事故というやつです。夜間、と言ってもまだ夕方6時半でした。すでにあたりは真っ暗です。

私は2台すれ違える6m道路を走行しておりました。前面の交差点の赤信号が見えたので減速中(だいたい20km)、あと6,7mで交差点というところで突然「ガシャン」という音が車の左側面から聞こえました。ミラーを確認して左に寄せると「すいませーん」と後方から声が聞こえます。恐らくぶつけた本人です。「すいません、お怪我はありませんか？」と割と冷静かつ丁寧な対応。ここで私は思ったのです、ああ、マトモな人が相手で良かったと。とりあえず警察を呼んで事故処理をして、お互いの身元と保険会社を確認したのちに解散しました。そして翌日。自分の保険会社から連絡がありました

A氏と名乗る担当さんから開口一発「相手が10対0と言ってきておりますが、何か特殊な事情でもございましたか？」それはそうでしょう、私はぶつけられただけですから、、え？どちらが10？私？？急に事態がわからなくなってきました。担当の方が言うには向こうは私は悪くない、とこちらに主張しているとのこと。ここで、私は思ったのです。ああ、マトモじゃない人が相手になってしまった。と。

はい、ここからが本番でした、今回の事故は。担当の方曰く、「かなり特殊な人のようですので対応は粛々と冷静にやってみましょう。少し長引くかもしれません。」そこから3週間。何の進展もありません。その間、私はイライラさせられっぱなし。1日おきに担当さんにまだかまだかと催促するも進展なし。イライラして担当さんに八つ当たりしているとその人が一言「、、弁護士特約が付いていれば良かったですねえ。」

そうです。弁護士特約が付いていれば丸ごと弁護士に預けてしまって、交渉から連絡からすべて代理してもらえたんです。特約が付いてさえいれば。。というわけで、あまり当てにならない(熱心じゃない?)担当者さんに任せるだけじゃ解決に至らない、と思った私はいわゆる第三者機関に相談することにしました。

その名も（社）交通事故紛争処理センター。ここはあまり名前を知られていない機関ですが、損保会社が一際恐れる存在機関なのです。（まあ、私も今回初めて知りましたが）

なぜ保険会社が恐れるか？実はこの機関は保険会社に対して拘束力を持っている機関なのです。つまり、この機関が提案する和解案に保険会社は応じなくてははいけないのです。（共済保険等は別。）早速処理センター予約を取り、相手方保険会社に予定期日に来所するよう通告。すると1週間後、相手方保険会社から処理センターには行かないと連絡あり。？どういうこと？と話を聞くと、事故の加害者が弁護士を立てるので交渉権は弁護士に移行しますのでウチは行きません。その後はその弁護士と交渉くださいとのこと。

なるほど、なるほど。紛争処理センターが睨みが効くのは保険会社のみ。弁護士にはなんの効力もありません。そうか、そうか、困ったなあ、まあでも私には弁護士特約も弁護士の知り合いも居ない。また消耗戦だなあと、待つこと10日。解決は突然やってきました。ウチの保険会社の担当さん、「相手方保険会社から6:4で示談したいと申し入れがありました。私の方で独断で断りましたがよろしかったでしょうか？」という事が聞くと、結局この案件を受ける弁護士が居なかったと。なので交渉が相手方保険会社に戻ったと。紛争処理センターに行きたくない相手方保険会社の担当から示談交渉が入ったとの事。私ももうこのころはかなり強気でしたので9:1以外は認めない主張したのですが、最後は8:2で決着。（20%も納得できないのですが）こうして年末の忙しいときに2か月あまり続いた事故処理はおわったのです。12/29日。正月前に解決して良かった。と胸をなでおろし新年を迎えたのでした。

事故を起こしたくて起こす人はいないと思いますが、誰にでも降りかかる災難でもあります。備えあれば患いなし。私は今回、弁護士特約が付いていなかったために非常に精神的に疲弊しましたし、不要な時間も取られました。みなさん、ぜひご自分の自動車保険を見直してみてください。今年も事故のない様頑張りたいと思います。

Bells kitchen

2024 年辰年!! 本年もどうぞよろしくお願い致します。先日の成人の日に娘が「はたちのつどい」へ参加して来ました。成人は18歳となりましたが、従来の成人式は「はたちのつどい」等と名称を変え、20歳のみが参加できる式典となっているようです。最近のはたちのつどいにお気に入りの振袖を着ていくために、1年以上前からレンタルの予約をしたり、写真の撮影も時期を外すと少しお安くなるからと半年以上前に撮影したり・・・と数年前から準備している方も多



いそうで、我が家も一昨年夏頃から「どうする??」なんて話をしていました。すると娘から「ママはどんな着物を着たの?」と聞かれ、「少しくすんだピンクの着物だったけど、今っほくないね・・・」と答えると、「見てみたい!!」と。娘は普段から古着を取り入れたファッションが好きで、振袖も今っほいものよりもレトロなものを着てみたかったそう。実家のクローゼットの奥の方から引っ張り出してもらって、持ってきてもらった着物は想像していたレトロとは違った様子でしたが(笑)、くすんだピンクが割と似合っていました。孫が着物を着てくれる、と私の両親も何だか嬉しそうでした。さて着物はOK!! 着付けと髪の設定は美容師の友人にお願いし、髪型も色々な方のSNSを参考にし決定!! 「髪飾りはつまみ細工でママに作って欲しい」と大役をふられてしまい、喜びと不安が入り混じり・・・案の定なかなか重い腰を上げられず、材料は揃えど気持ちかね・・・なんてやっていたらとうとう12月。大掃除とつまみ細工で頭がいっほい。しかし体は動かず・・・(笑)。夕食を終え、ビールでいい感じに気分が上がっている時に少しづつ



進めよう、とつまみ細工の生地を切るも、夜は目が見えず、なかなか進めず。お天気の良い日が続き、さて窓掃除でも、と調子に乗ってきた12月の半ば、大掃除中に右手中指を切り3針縫う事に・・・指は痛いし、年内に髪飾りを完成させたいので焦りましたが、ケガをした事でしばらく水仕事が出来ず、大掃除も思い切って諦める事が出来・・・(笑)、思いがけずモノづくりの環境が整いました(笑)。気持ちが乗る前に YOUTUBU 先生をたくさん見ていたので作り始めたらスムーズに進み、不自由な指を叱咤激励しながら12月29日に何とか完成! いやー良かった良かった!!

そんなこんなで新年1月8日、無事に成人の日を迎える事が出来ました。友人に着付けをセットしてもらい、友人カメラマンが海でとっても素敵な家族写真を撮ってくれました! それもデジタルでは無くこだわりのフィルムで!! ここまで20年間、たくさんの人たちに携わってもらって今があるんだなあ、と感慨深い気持ちになりました。まわりの方々への感謝の気持ちを忘れず、2024年も突き進みたいと思います!

さて、前置きが長くなりましたが、今回の BELLS KITCHEN は「自家製しっとりハム」です。高血圧を気にする主人に最近よく作っています。子供たちは成人しましたが、まだまだ元気に働いてもらわなきゃ!! ですからね(笑)。



材料
 豚モモかたまり肉 600g ほどのモノ
 塩 大 4
 水 1.5L
 タイム・セージ・ディル等ハーブ 4~5 枝
 (今回は市販のブーゲルとベイリーブスを入れました。)
 オリーブオイル 大 1



1
 豚肉はタコ糸で縛っておく。大きめの容器や鍋に水、塩を入れ、しっかりと溶かしておく。そこへ肉をつけ、冷蔵庫で24時間置いておく。



2
 24時間後、肉を一旦取り除き、漬け汁を火にかけて沸騰させ、ハーブ、オリーブオイルを入れる。



3
 全体が浸かるように肉を入れ、火からおろしてふたをして1時間半放置する。



4
 1時間半後、一旦肉を取り出し、再び漬け汁のみを沸騰させたら肉を戻し、火からおろす。ふたをしてそのまま一晩放置する。

肉を取り出し、薄くスライスして召し上がれ!!



編集後記

年末のカウントダウンから2024年がスタートしたかと思えば1月ももう半分が過ぎました。毎年、年末年始のこの時期になると1年ってホント早いなあ～って感じますよね。年を取ることに時間が経つのがますます早く感じる・・・これはただの「あるある」だと思われがちですが、「ジャーネーの法則」というらしく、年齢÷1年で時間の感じ方が変わるそうです。例えば52歳の自分にとって一年の長さは人生のたった52分の1ですが、5歳の人間にとっては5分の1と、1年が全人生の中で大きな比重に。つまり今の自分は5歳の頃の自分よりも時間の経ち方を10倍早く感じるという事に。なるほど、納得! これは人は初めての事や、経験した事がない事や、それが強く印象に残り、時間が長く感じられ、反対に慣れてしまうと時間の長さが気にならなくなり、あっという間に時間が過ぎたように感じるという事のようなのです。自分ももう人生の折り返しに入っていますが、若い頃のように常にチャレンジング精神でジャーネーの法則の逆を行きたいですね! さて Bells kitchen の記事にもなりましたが娘が成人になりました。ベルズレターもこの春で丸12年経ちますが、その Vol.2 に初登場したのがシンクロを始めた頃の小3の娘(上の写真)です。つい昨日のように思い返してみますが、もう20歳。ん～これもジャーネーの法則か!? うれしいような寂しいような・・・次回は4月発行予定です! お楽しみに!

